

経営比較分析表（令和6年度決算）

宮崎県 日南市

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------------------------------|--------|
| 法非適用 | 水道事業 | 簡易水道事業 | D4 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) | |
| - | 該当数値なし | 0.00 | 3,531 | |

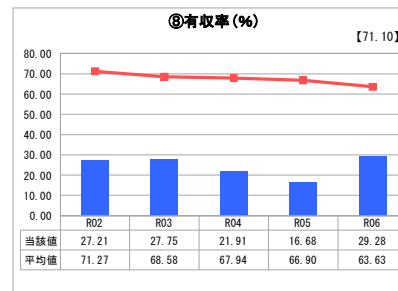
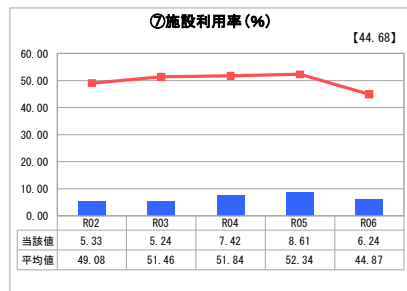
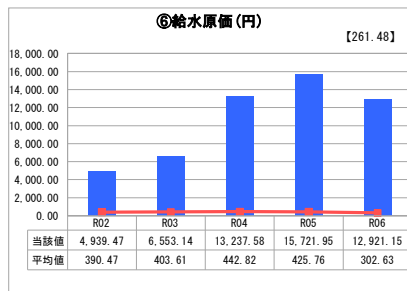
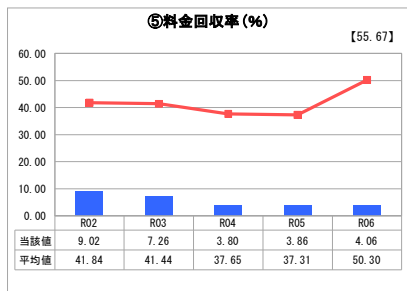
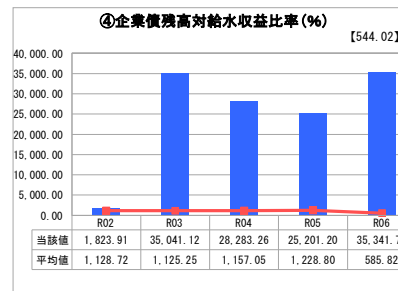
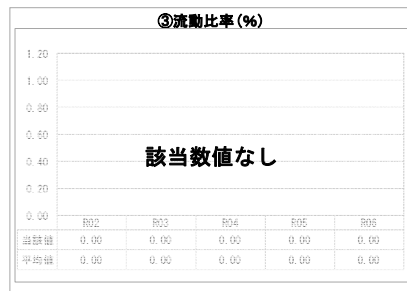
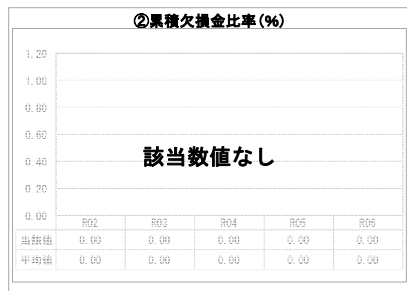
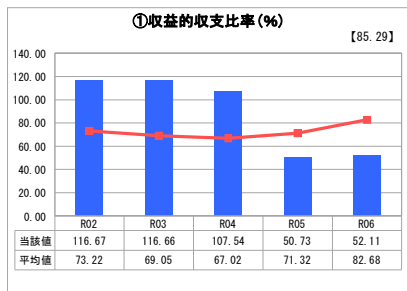
| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|-----------|--------------------------|----------------------------|
| 48,198 | 535.49 | 90.01 |
| 現在給水人口(人) | 給水区域面積(km ²) | 給水人口密度(人/km ²) |
| 0 | 0.36 | 0.00 |

グラフ凡例

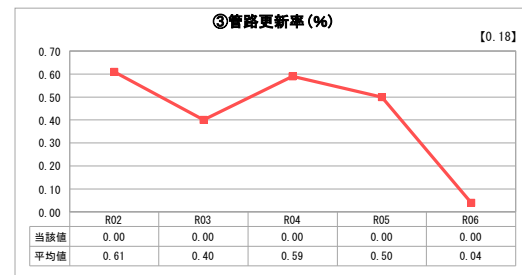
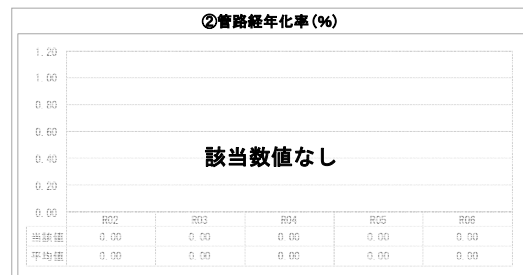
- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)

【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本市の簡易水道事業は、「大島」以外、既に上下水道事業と統合され、給水人口0人に対する収益は年間約27.3万円、厳しい経営状況となっています。

①収益的収支比率は約52.1%で、収益が極めて少なく、繰越金など他の財源に依存した経営です。

④企業債残高が9,648万円、その対比となる給水収益は約27.3万円となることから、④企業債残高対給水収益比率は約35,341.76%となっています。

⑤料金回収率4.06%は物価高騰、エネルギー価格上昇などの影響を受け、近年増加傾向にある⑥給水原価によるもので、令和6年度は漏水箇所等の修繕を行ったことで有収率が上昇し、若干の改善が見られたものの、その給水原価は約12,921円です。

⑦施設利用率6.24%は、人口増加が見込めない離島であることから、低い水準が続くと予想されます。

⑧有収率29.28%は、施設容量に対し使用する給水量が少なく、施設内で滞留しないよう定期的な排水が必要となるためです。

2. 老朽化の状況について

③管路更新率は0%です。平成29年度に「大島」以外の簡易水道事業を上下水道事業へ経営統合して以降、管路の更新はありません。大島は、離島であり、管理を低減するために、市町合併後の平成27～29年度にかけて、地すべり及び漏水対策として管路をポリエチレン管【露出配管】に更新しています。

全体総括

日南市の簡易水道事業は、離島である「大島簡易水道」のみです。また、給水人口は0人、給水収益も年間約27.3万円とわずかであり、一般会計の繰入に依存した経営状況となっています。なお、「大島簡易水道」については、令和7年度末で廃止し、令和8年度からは上下水道（日南市水道事業）への統合を予定しています。